

2026年6月19日(金)**ハンズオンセミナー**

14:30 ~ 18:00 | 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー1 インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする～切除療法と再建療法の実践

[HS1] インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする
～切除療法と再建療法の実践

*中居 伸行¹ (1. 関西支部/長崎大学)**ハンズオンセミナー**

14:30 ~ 15:50 | 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-1 内視鏡による嚥下機能評価

[HS2-1] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)**ハンズオンセミナー**

16:10 ~ 17:30 | 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-2 内視鏡による嚥下機能評価

[HS2-2] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月19日(金) 14:30 ~ 18:00 | Ⅲ 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー1 インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする～切除療法と再建療法の実践

協賛：株式会社フォレスト・ワン、ガイストリッヒファーマージャパン株式会社、株式会社茂久田商会、ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

[HS1] インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする
～切除療法と再建療法の実践

*中居 伸行¹ (1. 関西支部/長崎大学)

ハンズオンセミナー

2026年6月19日(金) 14:30～18:00 | 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー1 インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする～切除療法と再建療法の実践

協賛：株式会社フォレスト・ワン、ガイストリッヒファーマージャパン株式会社、株式会社茂久田商会、ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

**[HS1] インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする
～切除療法と再建療法の実践**

*中居 伸行¹ (1. 関西支部/長崎大学)

キーワード：インプラント周囲炎、切除療法、再建療法

インプラント補綴治療は、適切な診断と計画のもとで行われれば極めて良好な長期予後が期待できる治療法である。一方で、一定の割合でインプラント周囲炎に遭遇することは避けられず、臨床に携わる補綴歯科医にとって、その的確な対応は必須の知識・技能となっている。インプラント周囲炎は、進行するとインプラント体の喪失に至る可能性があるが、早期に発見し、適切な処置を行うことで治癒あるいは病態の安定化が十分に期待できる。本ハンズオンコースでは、まずインプラント周囲炎の診断に焦点を当て、プロービング、画像診断、臨床所見の読み取りなど、日常臨床で実践可能な診断プロセスを整理する。続いて、インプラント周囲炎に対する治療の第一選択となる各種外科的療法について解説し、切除療法および再建療法の適応、術式選択の考え方、補綴的視点からの注意点を共有する。後半では、専用模型を用いた実習を行い、フラップデザイン、デブライドメント、除染操作、縫合に至る一連の流れを実践的に学習する。補綴主導のインプラント治療に携わる歯科医師が、インプラント周囲炎に自信をもって対応できることを目的とした実践的ハンズオンコースである。

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月19日(金) 14:30 ~ 15:50 | Ⅲ 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-1 内視鏡による嚥下機能評価

協賛：日本ライトサービス株式会社

[HS2-1] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

ハンズオンセミナー

2026年6月19日(金) 14:30 ~ 15:50 | 第6会場 (ウイंकあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-1 内視鏡による嚥下機能評価

協賛：日本ライトサービス株式会社

[HS2-1] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

キーワード：嚥下内視鏡検査、嚥下機能評価、検査手技

嚥下障害を疑う場面や介護者から食事に関する相談を受ける機会が、外来診療および訪問歯科診療において増えている。反復唾液嚥下テストや改訂水飲みテストに代表される簡易嚥下機能検査により、ある程度の確度で嚥下障害の有無は評価可能である。しかし、嚥下障害の程度や障害に対する有効な代償法を探し出すには、嚥下内視鏡検査に代表される精密検査が必要である。嚥下機能における精密検査のゴールドスタンダードは、嚥下内視鏡検査および嚥下造影検査であり、互いの欠点を補完し合う関係にあるが、検査装置の大きさなどの理由から、歯科医院で嚥下造影検査を行うことは困難な場合が多い。嚥下内視鏡検査は、症状と病態の関係を明らかにする「診断のための検査」であり、安全に嚥下可能な食形態・体位・摂食方法などを探しだし治療に活かす「治療のための検査」である。よって、映し出される検査画像から誤嚥や咽頭残留などの所見を見逃さないことも必須だが、既往歴を含む全身状態・服用薬・介護状況・日常の食形態・指示理解度などを総合的に判断し有意義な検査とする必要がある。本セミナーでは、訪問歯科診療でも使用できるポータブルの嚥下内視鏡検査機器を用いて、易出血部位を含む解剖学的ランドマークの確認、鼻腔挿入時から代償法試行時の注意点を含め安全に有意義な検査となる技能の基礎を習得して頂きたい。

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月19日(金) 16:10 ~ 17:30 | Ⅲ 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-2 内視鏡による嚥下機能評価

協賛：日本ライトサービス株式会社

[HS2-2] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

ハンズオンセミナー

2026年6月19日(金) 16:10 ~ 17:30 | 第6会場 (ウイंकあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー2-2 内視鏡による嚥下機能評価

協賛：日本ライトサービス株式会社

[HS2-2] 内視鏡による嚥下機能評価

*玉田 泰嗣¹ (1. 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室)

キーワード：嚥下内視鏡検査、嚥下機能評価、検査手技

嚥下障害を疑う場面や介護者から食事に関する相談を受ける機会が、外来診療および訪問歯科診療において増えている。反復唾液嚥下テストや改訂水飲みテストに代表される簡易嚥下機能検査により、ある程度の確度で嚥下障害の有無は評価可能である。しかし、嚥下障害の程度や障害に対する有効な代償法を探し出すには、嚥下内視鏡検査に代表される精密検査が必要である。嚥下機能における精密検査のゴールドスタンダードは、嚥下内視鏡検査および嚥下造影検査であり、互いの欠点を補完し合う関係にあるが、検査装置の大きさなどの理由から、歯科医院で嚥下造影検査を行うことは困難な場合が多い。嚥下内視鏡検査は、症状と病態の関係を明らかにする「診断のための検査」であり、安全に嚥下可能な食形態・体位・摂食方法などを探しだし治療に活かす「治療のための検査」である。よって、映し出される検査画像から誤嚥や咽頭残留などの所見を見逃さないことも必須だが、既往歴を含む全身状態・服用薬・介護状況・日常の食形態・指示理解度などを総合的に判断し有意義な検査とする必要がある。本セミナーでは、訪問歯科診療でも使用できるポータブルの嚥下内視鏡検査機器を用いて、易出血部位を含む解剖学的ランドマークの確認、鼻腔挿入時から代償法試行時の注意点を含め安全に有意義な検査となる技能の基礎を習得して頂きたい。